

ひとりでも いえのなかでも できること 「わたしのいいね」を発信しよう!

皆さんから寄せられた「わたしのいいね」を産地・メーカーに送ったところ、産地・メーカーから返信が届きました。組合員の「いいね」と産地・メーカーのコメントをご紹介します。

第2地域 とーと会 すみれ会さんの「いいね」

「ほたるいかの甘酢漬け」
目などが取ってあって食べやすく、きゅうり、大葉、ワカメなどをプラスしてアレンジも自由!! 解凍もすぐできて便利でした。



【日本海・魚津漁業協同組合 遠矢さんより】

ご愛用いただきありがとうございます。ほたるいかの目は、一尾一尾手作業で取り除いています。好評をいただき、従業員一同喜んでおります。今後もおいしい商品をお届けできるよう努力します。



月桃さんの「いいね」

「かぞの豚小間切(バラ凍結・分包)」
夫婦2人の豚汁など、ちょっとだけタンパク質がほしい時に便利です。いつも常備しています。



【コープミート千葉 廣野さんより】

ありがとうございます。バラ凍結は、使いたい分だけお皿に広げてラップをかけ冷蔵庫に移すと短時間で解凍できるので、冷凍庫に常備しておくで大変便利です。今後ご利用よろしくお祈りします。



かんちゃん(杉並区)の「いいね」

「冷凍内麦ピザ生地」
使用する小麦粉のうち97%に国産小麦粉を使用! この生地さえあれば、レストランで食べるピザの味が楽しめます。お値段も4個入りで(480g) 358円(税込)!

【サンフレッセ 尾崎さんより】

ご利用ありがとうございます。この商品はイーストフードを使用せず、パン酵母の自然の力を使ってふくららせています。国産小麦粉はピザやパン生地にするのが難しいのですが、より小麦の香りを感じていただけるように努力しました。好きな大きさ・厚みにアレンジして、ぜひたくさんお好みのピザを作ってください。



ぴよママ(文京区)の「いいね」

「東都ピビンパピラフ」
とてもいい味付けで、家族全員大好きです。目玉焼きをのせて食べるのがおすすめ。簡単なランチの一品にもなります^v^



【全国農協食品 鈴木さんより】

貴重なご意見をありがとうございます。卵を温泉卵にしてのせて召し上がっていただくのも好評ですので、ぜひお試しください。



組合員活動からも
産地・メーカーへ
応援メッセージを!!

産地・メーカーの皆さんへ

感謝と応援の動画メッセージ!

毎年、たくさんの組合員が参加する産地・メーカー交流訪問も、2020年度はコロナ禍のために開催できませんでした。そこで、各地域「連絡会」*で生産者に感謝と応援のメッセージを録画し、YouTube動画にまとめて配信しました。

「いつもありがとう」「体に気を付けて頑張ってください!」「おかげで子どもが野菜を食べるようになった」「産地・メーカーの皆さん、食を支えてくれてありがとう!」など、組合員が応援しているようすは東都生協公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。以下のホームページアドレス、右の二次元コードからぜひアクセスしてみてください。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=YE0KUEnsYpk&t=33s>



またお会いできる日を
楽しみにしています!

*連絡会：東都生協は事業区域を9つの地域に分けて、組合員活動を進めています。各地域では毎月「連絡会」を開催し、地域の組合員活動団体（ブロック委員会、とーと会、サークル、自治体別連絡会）が、その活動について情報交換を行っています。



理事会報告 (抜粋)

<2020年度第11回定例理事会2021年3月18日開催
【審議事項】●第47回通常総代会招集に関する決定事項確認の件●第47回通常総代会議案 定款の一部改正の件●第47回通常総代会議案確認の件●2020年度常総代会役員(委員)などの指名確認の件●2020年度未決算に向けた決算処理方針確認の件●総合受注システム基盤更新の件●2021年度予算案および資金運用計画の確認の件●総代通信No.3(第2次議案書)確認の件●2021年度 理事会設置委員会及び委員派遣に係る関係団体等確認の件●有機米デザイン株式会社への出資に関する件●入間センター施設 原状回復工事実施の件●2021年度のシステム対応計画の件●全体区理事のうち組合員常任理事候補者推薦の件●就業規則の一部改正の件
【報告事項】●組合員活動委員会報告●商品活動関連報告●福祉政策2025に基づく2021年度推進計画確認の件●「東都生協」の助け合いの会はつと「はんと」への2021年度助成金及び理事会推薦幹事選出の件

今後の理事会日程(予定)
6月17日(水)・20日(土)
7月22日(水)

3月のわたしたち		
2021年3月20日現在 ※[]内は前年比		
組合員数	258,887人	[104.2%]
加入	19,815人	[122.5%]
脱退	9,335人	[63.1%]
総事業高	37,847,183千円	[122.6%]
共同購入事業	36,661,311千円	
弁当配食事業	319,752千円	
生活文化事業	53,029千円	
生活支援事業	65,603千円	
その他事業	747,488千円	
出資金	6,512,013千円	[100.4%]
1人あたりの出資金	25,154円	[96.4%]
1人あたりの利用高	6,406円	[117.3%]

厚生労働省に

「令和3年度輸入食品監視指導計画*(案)に関する意見書」を提出

世界情勢や社会情勢の変化に伴う消費者のライフスタイルや食生活の変化により、輸入食品は増加の一途をたどっています。輸入食品の届け出件数が急増する一方、輸入食品の検査率は8.5%(2019年度)と大半が無検査で輸入されている現在、監視指導体制の抜本的な拡充が求められます。東都生協は2021年2月11日、輸出国での生産から国内流通に至る各段階での的確な監視と対策が重要と考え、次の3点を趣旨とする意見書を厚生労働省に提出しました。

- 関係省庁・各都道府県などとの連携を強化し、食品に関するさまざまなステークホルダーとの意見交流を活発にし、輸入食品の安全に関する全ての事項について情報公開とリスクコミュニケーションを求めます。
- 増加する輸入食品の輸出国でのHACCPによる衛生管理の普及、輸入者への衛生管理指導の徹底を求めます。
- 輸入食品などの検査体制として、食品衛生監視員の増員およびモニタリング検査数の向上を求めます。

*輸入食品監視指導計画は、輸入食品などの安全性を確保するため、輸出国での生産から輸入後の国内流通までの各段階で厚生労働省などが実施する措置について、国が毎年度定めるもの。

核兵器禁止条約の批准を要請する 要請書を提出しました。

2021年1月22日、「核兵器禁止条約」が発効されました。同条約は、被爆者とともに東都生協が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的な条約であり、戦争のない平和な世界への一歩ともいえるものですが、日本はこの条約に署名・批准していません。

日本政府は、唯一の戦争被爆国として核廃絶の取り組みをけん引すべき立場にあります。日本政府は核抑止力の維持・強化を理由に核兵器禁止条約に背を向ける態度を改め、国際社会が「核兵器のない世界」に向けて踏み出そうとしている今、核兵器完全廃絶のための責任を果たす必要があると考えます。

一日も早く「核兵器禁止条約」に署名、批准して国際的な枠組みに参加し、核兵器のない世界の実現に向けてその責務を果たすよう、東都生協は2月18日、日本政府に対して強く要請しました。

